

(別 紙)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(1) 臨床心理学科の趣旨及び必要性

本学は、臨床心理学のパイオニアとして永年にわたって心理臨床の教育・研究を行ってきた。今日では、心理的援助と人の心の理解についての理論的・技術的な体系化とが進み、より高度な専門化と同時により優秀な専門職の養成が求められている。本学の臨床心理学の教育・研究は社会の変化に十分な対応を行い、斯界から大きな評価を得ている。このことから、現況の臨床心理学専攻の教育・研究は十分にひとつの学科として系統的・専門的に学べるシステムを確立しているところであるが、より明解な形で本学臨床心理学の教育・研究の独自性を強調したいと考え、平成5年に開設した本学人間学部人間福祉学科臨床心理学専攻を、設置の理念、教育・研究の方法、カリキュラムを変更しないまま平成21年4月から臨床心理学を分離・独立して学科として開設した。

今回の学科開設によって、社会や学生のニーズに対応した教育がより理解されやすい環境のなかで専門家養成の教育・研究に邁進できるものと考えている。

(2) 達成状況に関する総括評価・所見

平成21年4月に開設し、第一期入学生を受け入れた。本学の建学の理念及び学科の理念、教育・研究の方法、教育目標をよく説明し理解してもらうにコミュニケーションガイダンスや自校教育としての大学入門を実施した。また、実務・実践的な学びの場が学習環境として充実していることが本学科の大きな機能としての特色であり、その特色をいかしながら多角的視野をフィールド面から養い、本当に役立つ対人援助の実践家を養成することで、卒業生の質を保証し、生き抜く力を持つ専門的知識を有する教養ある社会人を学士として社会に輩出していく。